

（令和元年 5 月試験研究業務月報）

試験研究課題：中山間地域の稲作を守り支える集落営農組織におけるスマート農業技術の実証（令和元年度「スマート農業技術の開発・実証プロジェクト事業」

情 報

スマート農業の現地実証に関するキックオフ会議を開催

5 月 20 日に当センターで、農林水産省の委託事業「京都亀岡中山間水稻生産支援スマート農業実証コンソーシアム※」の第一回推進会議（キックオフ会議）を開催し、実証農家やコンソーシアムメンバー等 52 名が参加しました。

今回のキックオフ会議では、本事業の趣旨である高齢化や担い手不足が深刻化している中山間地域水稻栽培においてスマート農業技術の一貫体系（自動運転トラクタ、ドローン、生育診断システム、自動水管理システム等）を実証し、省力化や品質・収量向上効果を検証すること等を確認しました。

本技術を実証する亀岡市の（農）ほづからは「スマート農機で効率化を図り、経営を安定させ、若い人たちに継いでもらえるよう期待している」等といった意見をいただき、本実証事業に大きな期待が寄せられました。

今後は、現地に導入する機械等の効果を検証するためのデータ取得に努め、実演会など広報活動も行い、府内の稲作現場への早期の普及を目指します。

※ 京都亀岡中山間水稻生産支援スマート農業実証コンソーシアム

京都府内の中山間地稲作において、水稻の耕耘から収穫までの一貫作業において自動運転トラクタやドローンなどスマート農業技術を用いて省力化、高収量・高品質化を図ることを目的に結成した協議会（民間企業 4 社、大学 1、関係機関（府、市、JA など） 8 組織で構成）



コンソメンバーから実証内容の説明を受ける

農林センター